

宇宙の女王様



にならない!

ucyu no siso sama no tugai ni narushikanai!

個人的な趣味・性癖のもと作成した
創作同人漫画です

以下の要素が含まれます

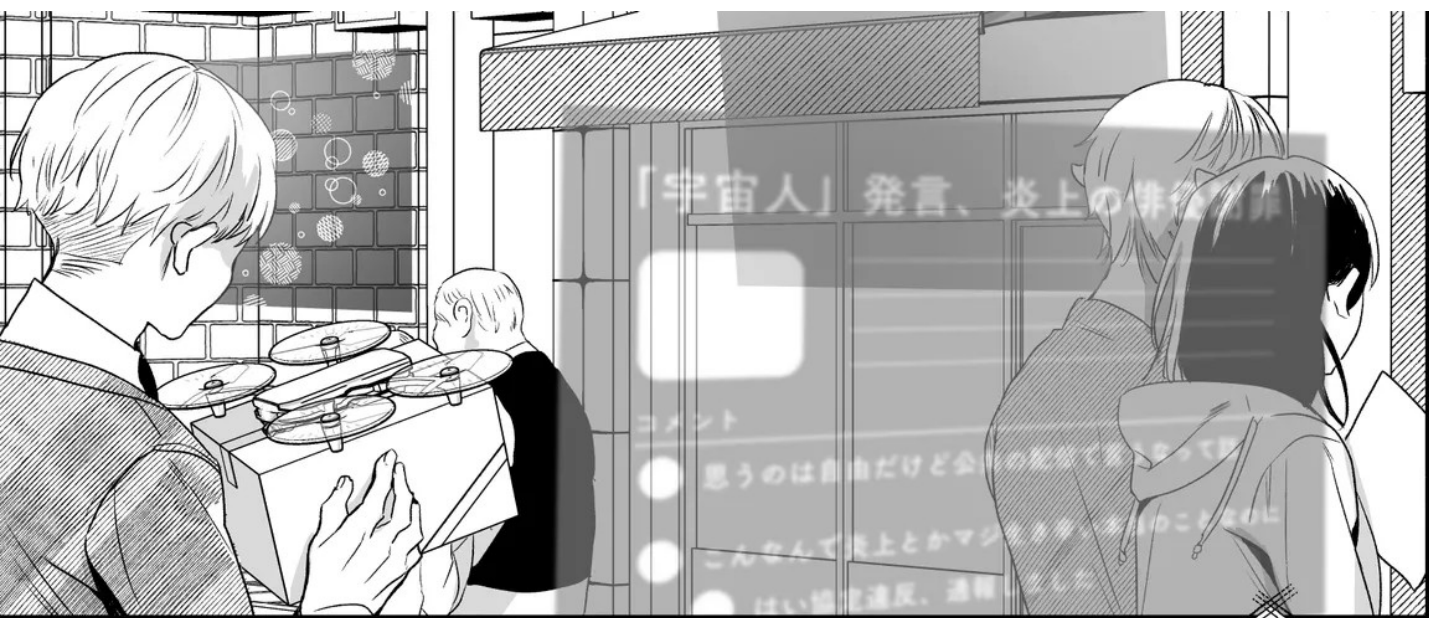
触手・子宮姦・アナル(二穴同時)・精液ボテ
産卵・洗脳・上位存在の絶対的優位性

西暦×××年頃
地球は宇宙外生命体との
交信に成功

結ばれた協定は
現在に至るまで続き

今や地球は
宇宙^{そら}の方々にとって
重要な貿易・中継の
拠点である







(Handwritten scribbles)

始祖様の一人
シヴィイさんは
配信ではあまり
見かけないけど

我々の種族は
代々さまざまな星系の
さまざまな種族から
ゲノム、アニメ、
メモリ等を解析して

つがいは
乾いた僕達
種族の心を潤す
存在――

情報媒体や
配信で話題に
されない日はない
と言っている







始祖様のつがいなんて
私に務まるとは
とても思えないし

バイトはすぐ
やめたいぐらい
だけど勉強
頑張りたいのは
本当だし

断れるなら
断りたい……！



栞里様

シヴィイ様の
つがいに選ばれる
ということは
非常に名誉なことで
このことは協

やめなさい



栞里が困惑するのは
当然のことだ

実際に会ったのは
これが初めて
なんだからね

でも……

僕は葉里を
凄く好きだから

僕のことを知らずに
今すぐ断れるのは
さみしいな

だから
もしよかったら
だけど

僕の家
住んでみないかな

い、家ですか？
それって…

うちゅう…？

ああ安心して
都心にも別邸が
あってね

僕のことを
知る期間として
数ヶ月ほど

嫌なことがあれば
すぐ解消してもいい

共同生活をすれば
相性がいいかどうか
すぐわかるだろうし



栞里も今住んでいる
アパートは大家さんが
売り出しを考えていて
ちょうど新しい住処を
探しているところだよな？

な、なんでそれを

栞里のことは
全て調査済なんだ

僕の家なら
家賃は要らないし
おいしい食事もつくよ

君の大学には
車で送って行くよ

これは栞里が受けられる
条件付きの支援でも
あるから受け取らないと
ある意味損だよな



始祖様が
食べるぐらいだから
高級ごはん…？

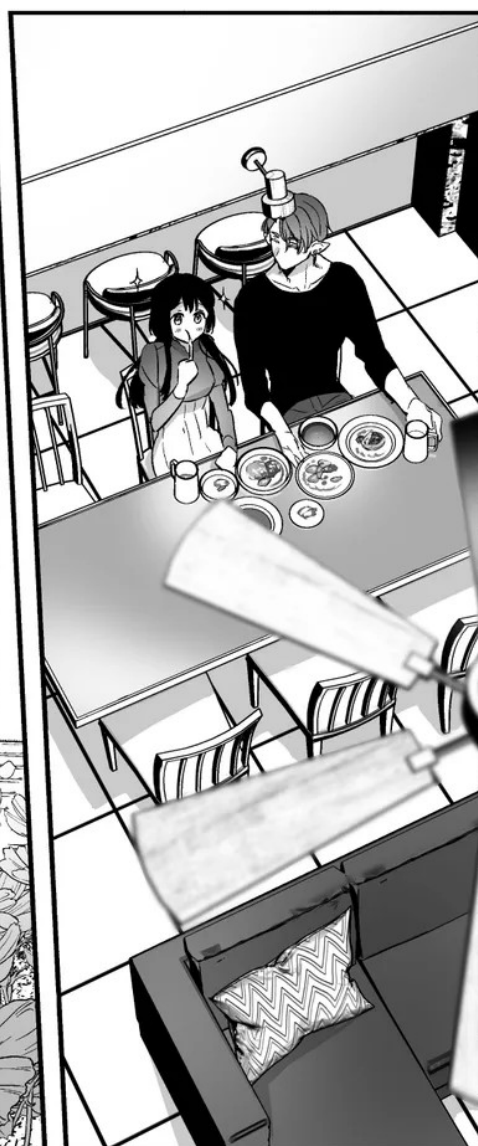
だしにわか
そうでもない…
うしろのほうで…
優しいそう

危険
では？
この好意に
えすぎるのも
うしろのほうで…

早く家に新しい家
越さないけし
実際引さとい
家賃光熱費その他
交通費要らずなら
バイト辞められる
勉強も出来る
貧乏だけど
無理して大学に
きたらバイトで
結局勉強がおろそか

おなか
すいた







いやまあ正直

私にとっても
誰にとっても
結婚相手として
ド理想な方ですよ
ほんと…

おちつき



なにか
考え事かな？

あ
すみません



結婚自体は
いつかはまあ
したいけど…

でもなあ…

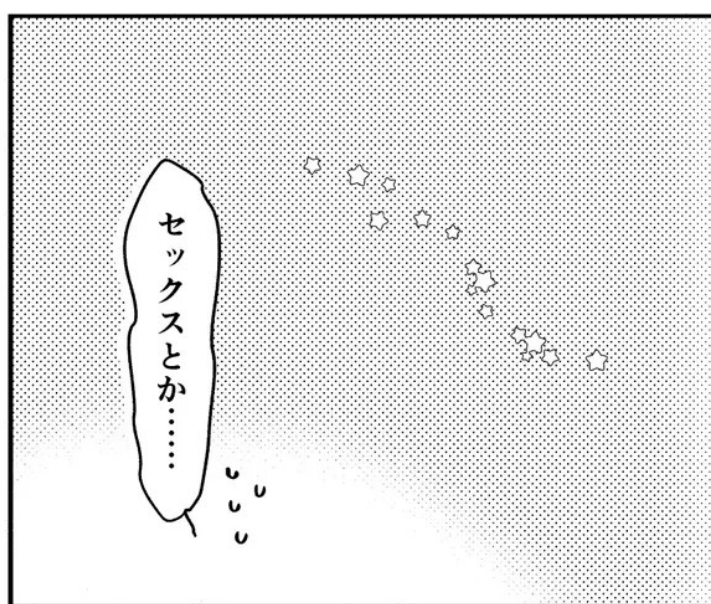


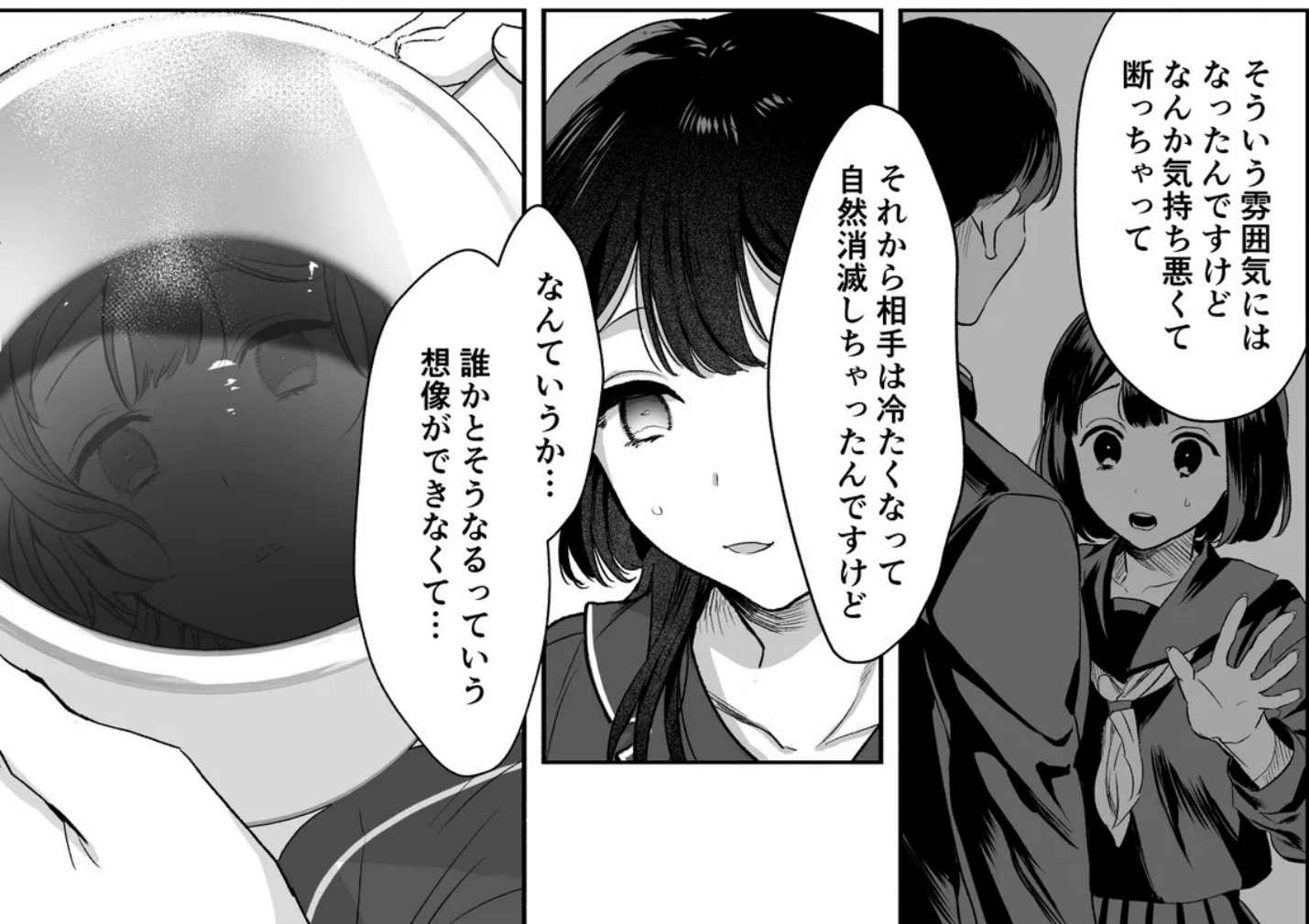
……



よかったら
僕に話してみない？

助言よりは
聞き役に徹して
しまおうけど







栞里は一人で
したことはないの？

ドク

なんか…

凄く明け透けに
言っちゃってる…



え、と……
したことは……
ありますけど

ドン

なんでだろう…

そうなんだ

こんなこと
誰にも話したこと
ないのに…



色々なんがいるけど

栞里の場合は環境的に
そういうったことに
惹かれなかっただけで
実際はとも好きに
なれるかもしれないよ

好きに…

そう

栞里は一人で
どういうふうにし
たの？

どういうふうにして…
普通に触って…



こういう風に？

びくっ

……ッ!?

あ……!!

ふみ

あ……♡

なんか
肌が
ぴりぴりする

こういう感じかな
どう？

は……♡

背中も
ぞくぞくして…

あ、
あ、なんか、
ちがう……

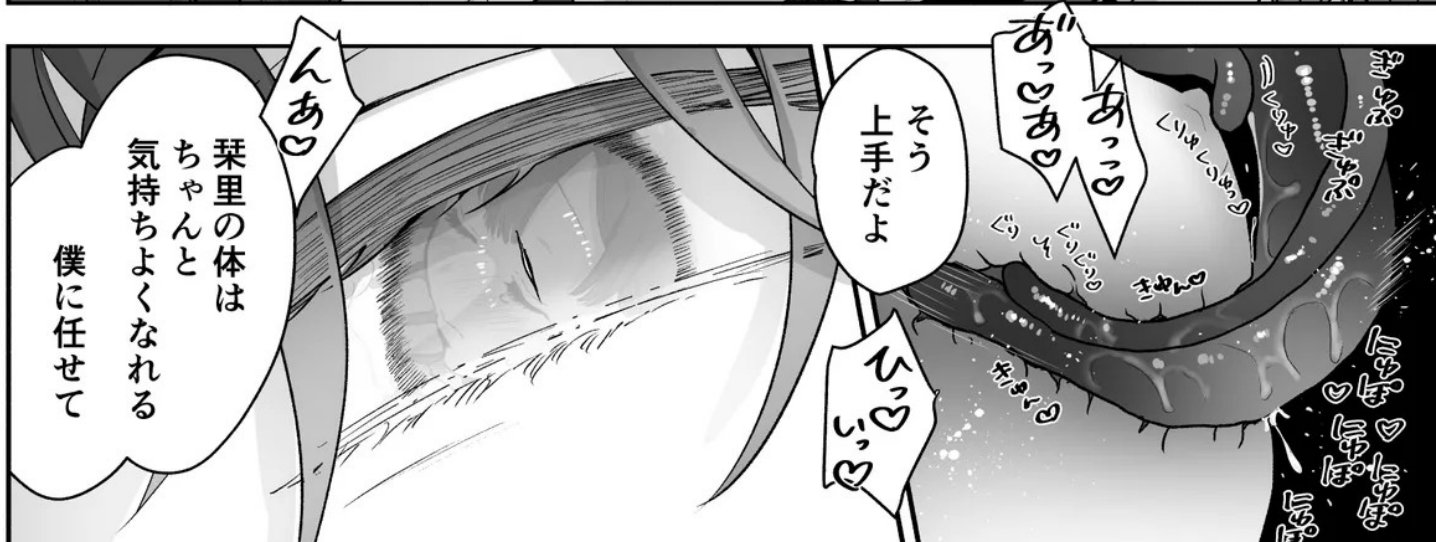
ちがう？
どのあたりが
違うのかな

どうして？

ん……♡
あ……♡









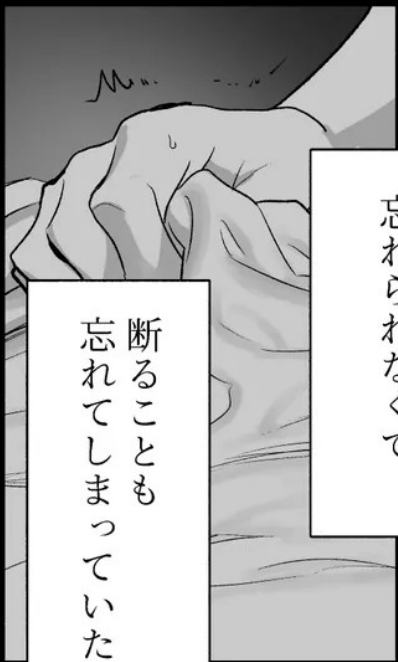
それから
毎日のように
シヴィイさんに
体を触られる
ようになった



私も初めこそ
不誠実だと
断ろうと
思ったけど



触られると
頭がしびれて



始めて覚えた
気持ちいい感覚が
忘れられなくて

断ることも
忘れてしまっていた

でも



触られるだけで
セックスはしない

それなのに
だんだんと



もっと太いものを
いれられたいって
気持ちになって
しまつて



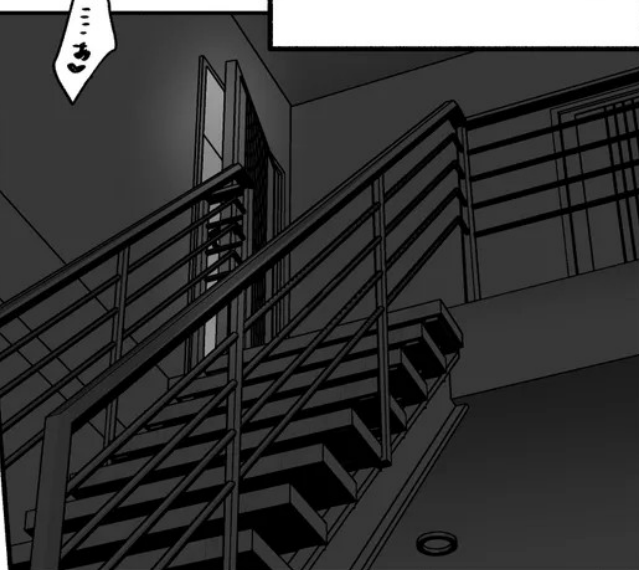
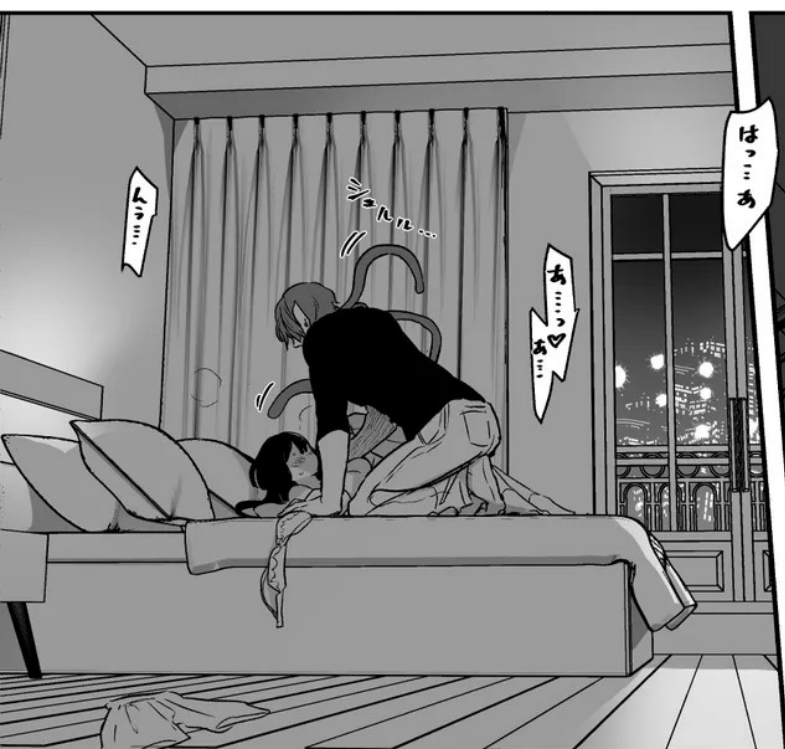
シヴィイさんは本当に
私のことが好きなのかな

相性がいいから
選んだだけ？

私なんて
つがいとしての
相性がよくなければ
選ぶことはなかった
だろうし



本当はセックス
したくないかも…



ズルミ

あ、あの
シヴィイさん…

いいれないん
ですか？

…葉里は
セックスしたいの？
嫌じゃなかった？

ああ、私は

うん？

色んな不安を
脇に置いてでも

あ、あの、
そうだったん
ですけど…

それに今は
お試し期間中だしね

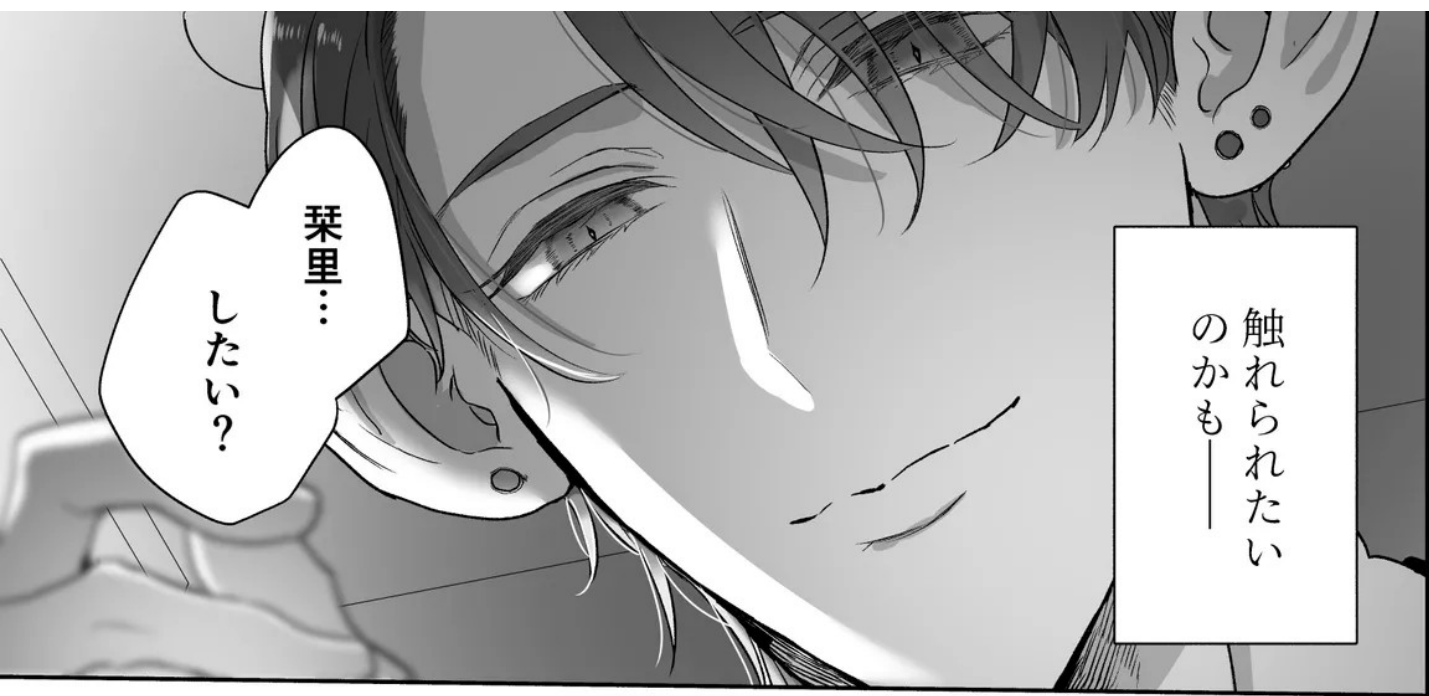
そう、
そうなん
ですけど…

あ、でも……

このひとに

もっと
深いところに

アゲ



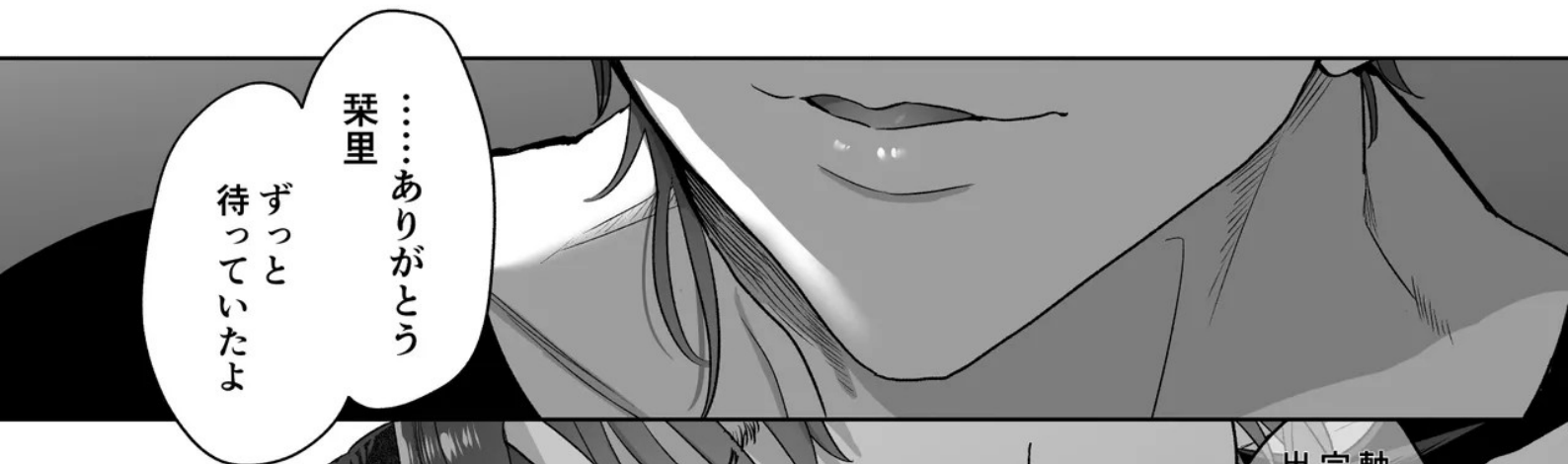
栞里…

したい？

触れられたい
のかも――



コクン…



……ありがとう
栞里

ずっと
待っていたよ



軸になる心が無いと
完璧な精神干渉は
出来ないからね

え？



ふきゅん
ふきゅん
ふきゅん

ふきゅん
ふきゅん
ふきゅん



なに、これ

どあどあ♡♡

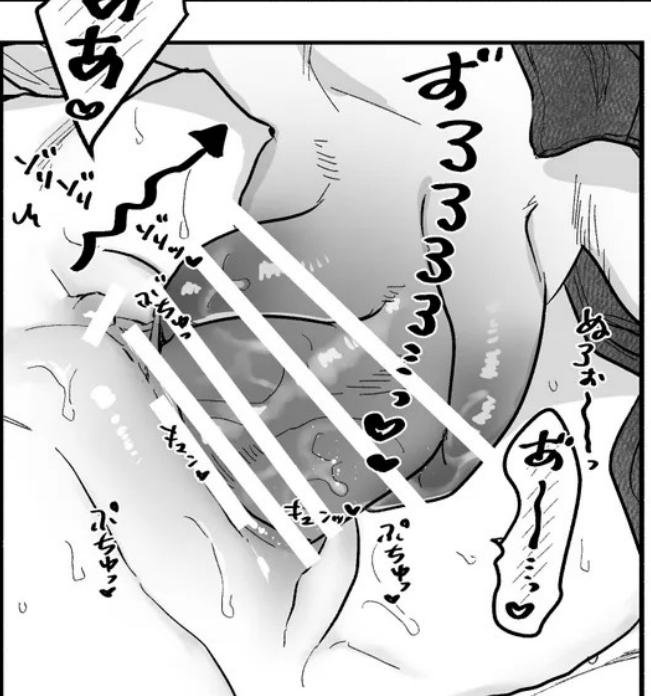
はくっ

はくっ



より排卵を促すように
膣の中を刺激するんだ
触手などの器官でね

ああ、僕らの生殖器は
人類のものとは
少し違っててね





子宮の中
いれちゃうね

ほら入るよ

ビクッ！

うっ！

にゅにゅにゅ

ちゅちゅちゅ

んやめ
あん



んおふあ

おん
おん



あー、入っちゃった

大丈夫？

きもちいい？

よさそうだね

よかった

葉里は素質があるよ

いい子







こうすると深いし
お腹の奥とんとん
されるの
気持ちいいよね

……あれ
トンじゃったかな？

はっはっは

はっは

はっは



じゃあオナホ
みたいに
しちゃおうかな

そっちのほうが
葉里も
気持ち良さそう
だからね

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは



はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは

はっは





外からもゆっくり
お腹を揉んで…

気持ちいい？

ほら
お腹力いれてみて

あーんあーんあーん

ポ

ガクガク

ポ

ポッポッポッ
あーんあーんあーん
ガクガク





.....?
わ..

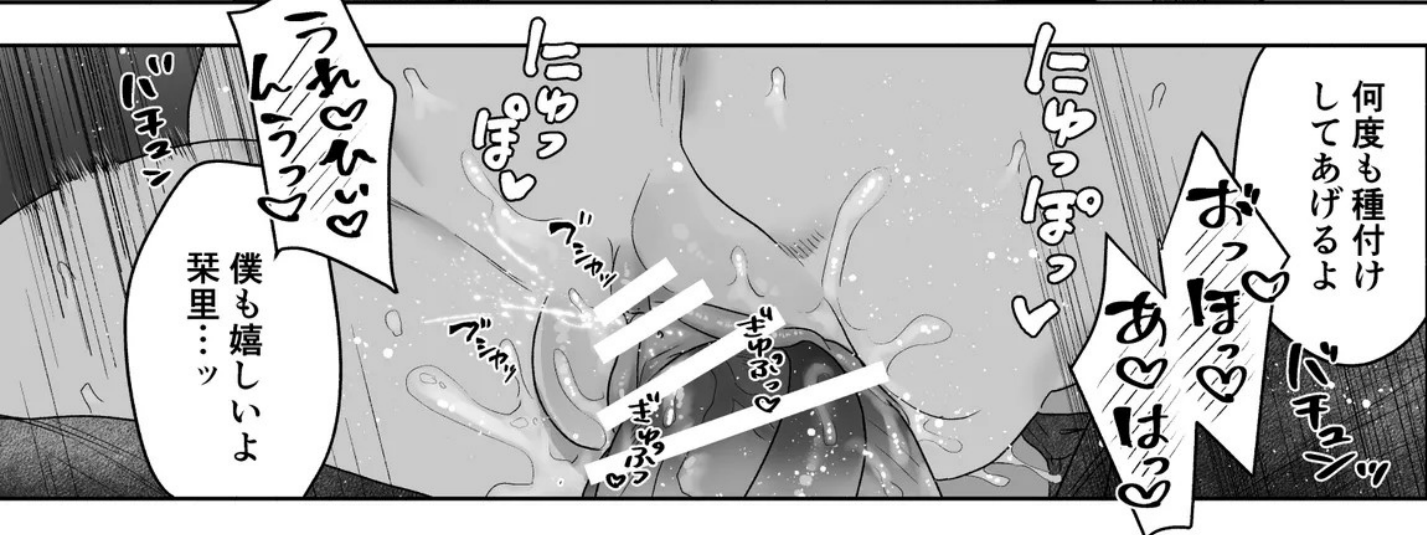
わ、たひは...



シグイイさんの..
つがい、で...奥さん、で

いま、子作り
せつくす、中、
です...よね...?

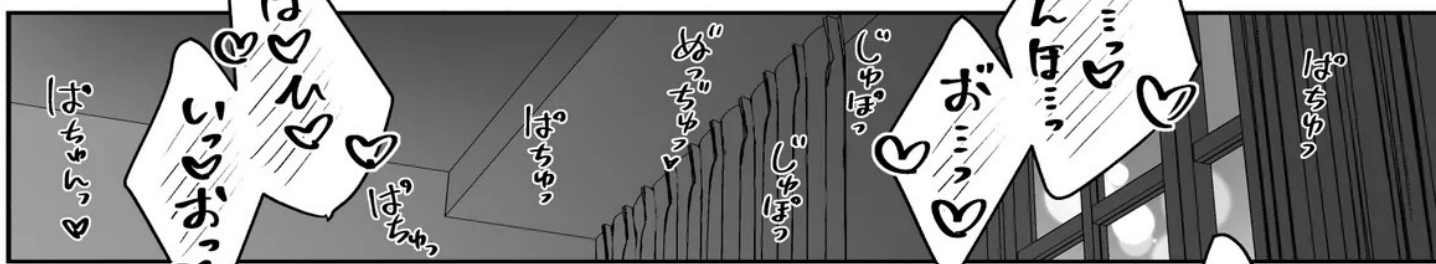


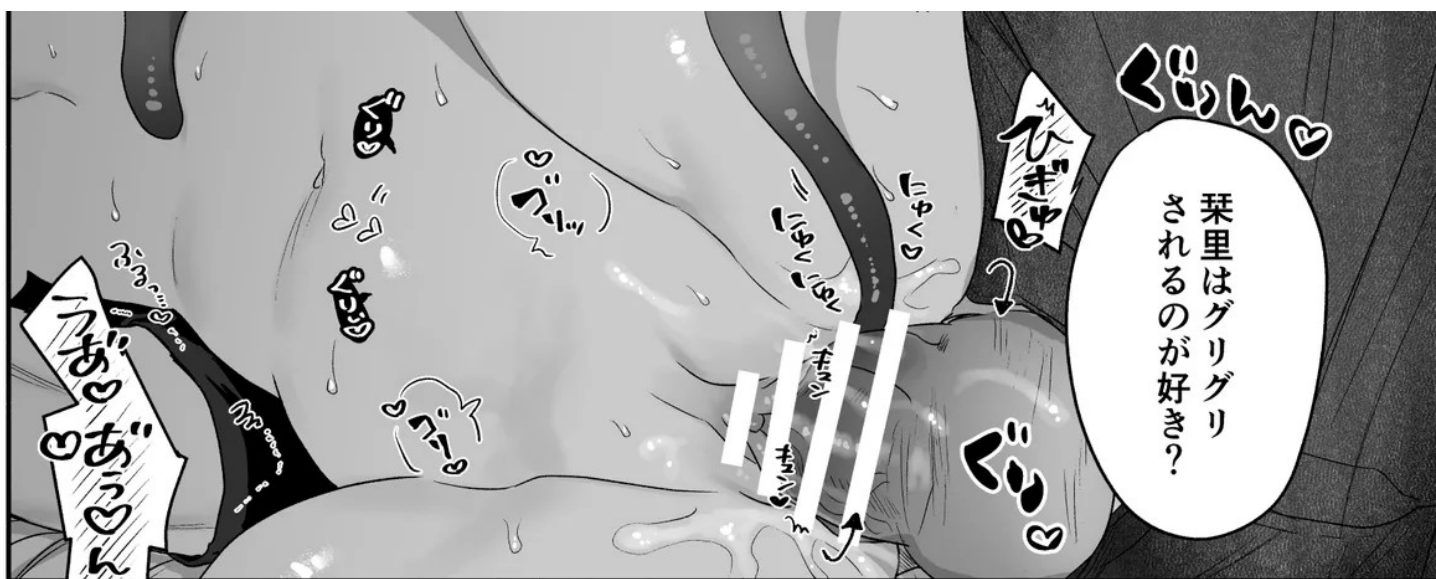




僕も愛しているよ

永遠に――







シ、ヴィ
さ

ん♡

栞里

僕だけの栞里



とうに
理解していた

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ



このために
生まれたのだと





地球の人間達には
「始祖様」などと
呼ばれているが

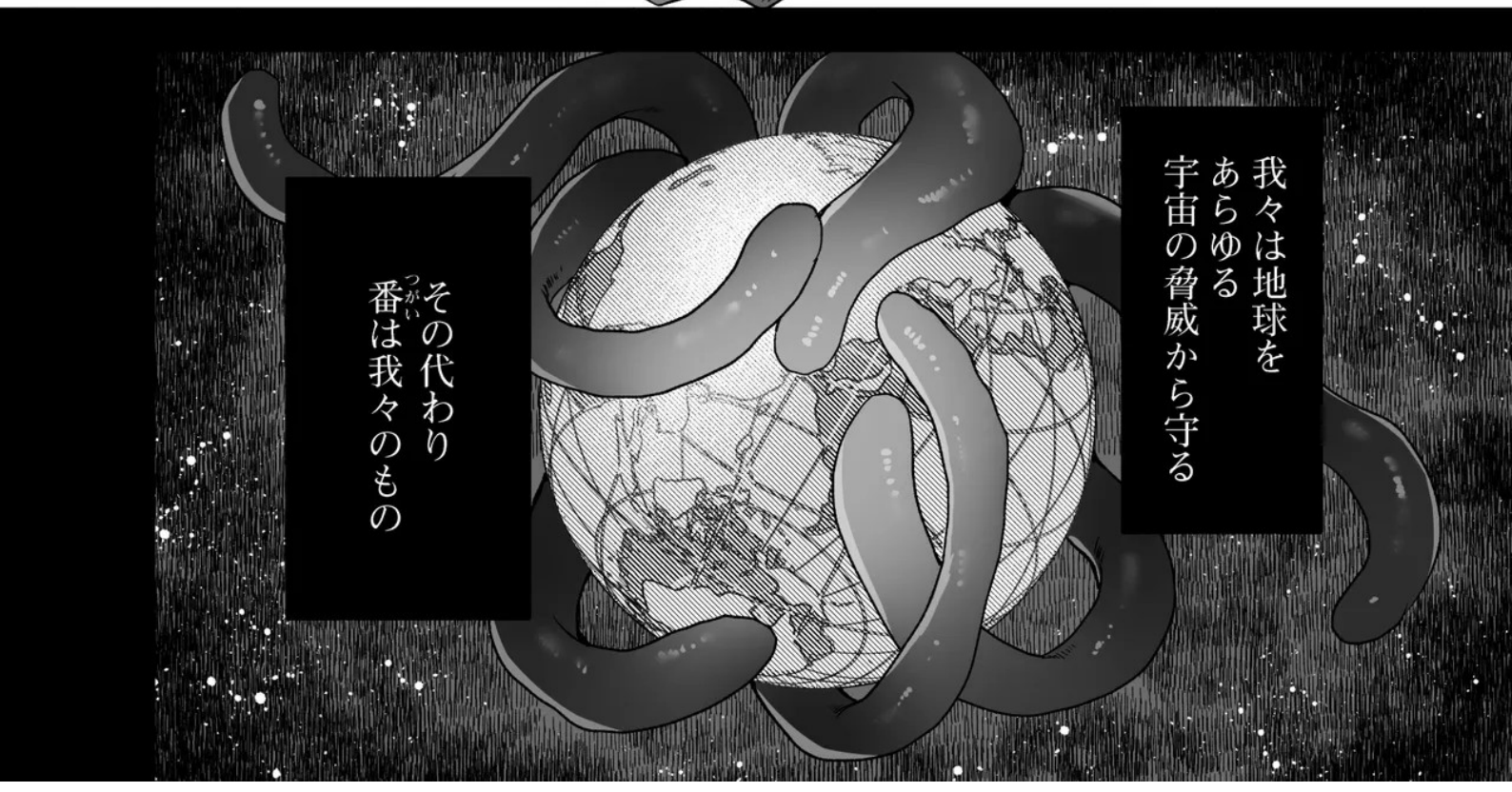
例え本当の始祖である
先祖の意識が
崇高だったとしても

我々の行動原理など
単純なものだ



我々種族の
番は地球に
生まれやすい

そのため
結ばれたのが
件の地球との
協定だった



我々は地球を
あらゆる
宇宙の脅威から守る

その代わり
番は我々のもの

つまり
番に望まれた人間に
我々から逃れる術は無い

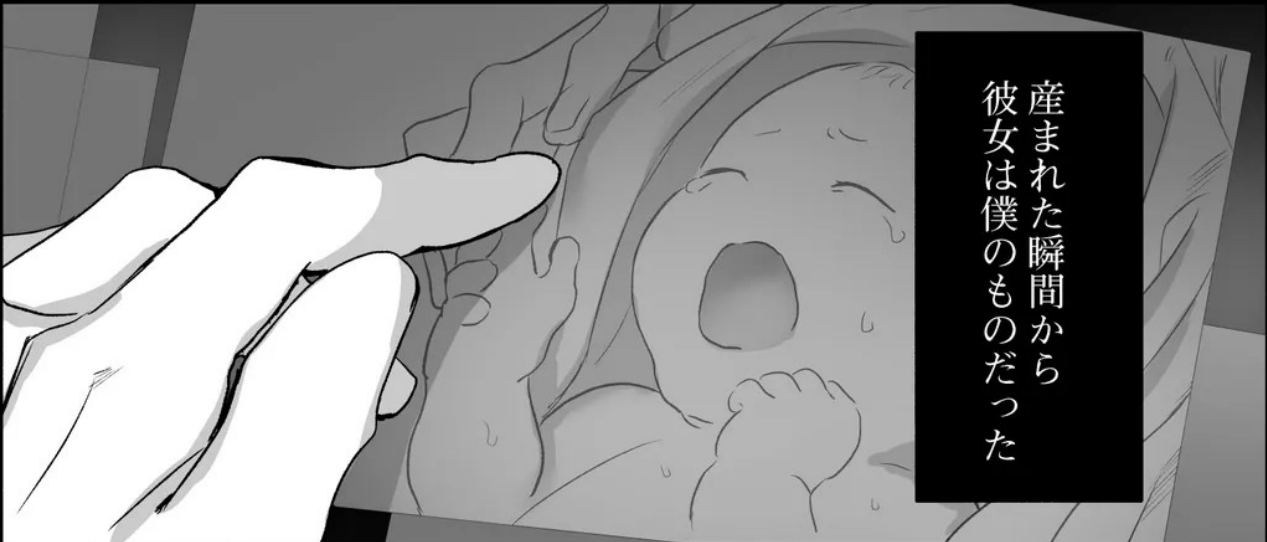
政府も
周囲の人間も

誰も
助けては
くれない

選択肢は
はじめから
一つしかない



産まれた瞬間から
彼女は僕のものだった



だが
僕はこの種族の中でも
人間寄りだから

栞里には
大人になるまで
好きにさせたし

恋人が出来ても
許したし

まずは僕を
少しでも
好きになって
くれるようにした



他の仲間達の多くは
番を問答無用で
連れ出して
強制的な精神支配で
自分のものに
してしまうが

僕はきちんと
手順を踏んで
栞里が自分の判断で
僕を選んで
くれるようにした

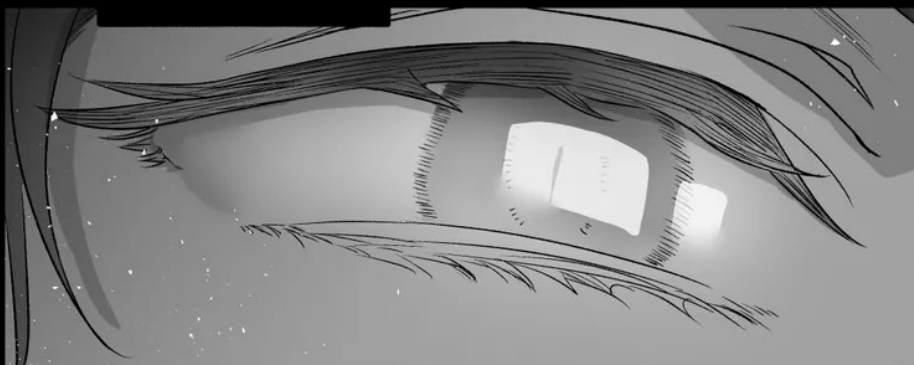


精神干渉を
しようが
しまいが
今までも
これから先も

栞里の体と心は
僕だけのものに
しなければ
気が済まない



彼女を見つけた
瞬間から
僕の心を
占めるのは
それだけだ



栞里が僕のために
産まれたように





僕は栞里を
しあわせにするために
産まれたからね



UCYU NO SISO SAMA NO TUGAI NI NARUSHIKANAI!

このページ以降は

完全な蛇足の設定群です

157cmくらい"
(おっぱい)
FがGくらい"
そのうちもっとでかくなる



栞里

・現在は大大大好きなシヴィイの奥さんに
なれて嬉しいな～ほわほわしあわせ満喫中。
時々はちとする時もあるが、シヴィイが
いれば落ち着く。

・家庭が裕福ではないが勉強がしなくてかなり
無理を言って大学に行った。奨学金借りつつ
バイトでやりくりしていてそのせいで勉強が
おろそかになるという本末転倒状態だった。
宇宙公用語も学ぶ機会が少なく喋れない。
奨学金は自分で返したいという栞里の強い
希望でシヴィイは環境を与えるのみに留め
銀河の恒星復興事業に投資などして奨学金を
返済。現在は望んだ勉強をシヴィイの傍で
できている。

・シヴィイは家族に挨拶に行ったりしい。
家族はたいそう喜んでいた。

・元々快楽には弱い体をしている。
「偶然にも」性的なもののから遠ざかる生活を
したためそのことに気付かなかった。
そのため一気にやってきた快楽に完全に
メロメロに。

・始祖様の番になった場合細胞を
いじられるためほぼ不老不死に。
そしてさらに快楽によわよわに。



シヴィイ

- ・子宮に宿った胎児の葉里を観測したその時から葉里のために生きることにした。
- ・アパート立ち退き、引っ越し妨害、高校時代の恋人の行動操作・破局(相手はその後行方不明)、その他もろもろやりました。何でも地道にやる。
- ・葉里の飲み物には自分の体液を入れてほわーんとませた。
- ・漫画冒頭は葉里の20才の誕生日。葉里が二十歳になるまで会わなかったのは一応協定を守っていたため。協定には未成年の番との接触の禁止等が盛り込まれている。他の始祖様は協定はあまり守ってない事も多いが、シヴィイは「正攻法(?)」で葉里を自分のものにしたいと思ったため。あと葉里の身体的特徴から快楽を一気に与えてメロメロにしたかったというのもある。
- ・他の始祖様はもっとやばいことやりまくるので本当に人間寄り…らしい。

188~
190cmくらい

歯っぴいものは
あるけど爪はない

触手は普段は
背中に収納
している

再生能力有



始祖様

- ・宇宙の創成者の子孫。「始祖様」は地球での俗称。先祖はともかく子孫は始祖ではないし多種族よりは色々出来る生命体という程度。たゞし一応宇宙の神々には近い存在。
- ・定住地のようなものではなく、基本的には宇宙船で暮らしている。
一つの宇宙船に複数の始祖様で暮らす場合もあるが、基本的には一隻につき一個体。
シヴィイの宇宙船内は菜里のために環境を地球とほぼ同じにしたので重力も空気もある。
- ・他の星系では地球のようなアイドル扱いではなく畏怖すべき存在として認識されている。
番のことを「生け贄」と揶揄する者もいる。
- ・触手は出せない・出さない者もいる。獣寄りだったり、形態は色々。
- ・女形の始祖様もいる。でも番の性別がどうであれ圧倒的孕ませる側。
- ・何千年と生き、ほぼ不老不死と言われている。
誰も死体を見たことがないので実際どうなるのかは不明。
- ・番との子を成すと、子を仲間に渡し番と共に宇宙の外へと去っていく。
子が誕生しなかった場合もいずれ宇宙を去る。
その後は誰も姿を見ない。番も最終的にどうなるのかは不明。
- ・細胞操作、精神干渉が出来る。但し精神干渉は軸となる心がない状態で無理矢理精神支配すると対象の精神や自我が崩壊する。そのため他の始祖様の番の多くは…。
あえて精神干渉を全くせず連れ去り、番の反応を楽しむ者もいるが、その場合も様々な宇宙的出来事に絶えきれず最終的に番の精神はボロボロになってしまう。
菜里の状態は非常に珍しいので、様子を知ると他の始祖様は大抵驚く。
- ・思念波で意思疎通が可能のため言語の壁は無いが、シヴィイは菜里と喋りたいし菜里の五感を刺激したいので日本語を学習した。菜里は耳が弱いし。
二人でしゃべっている時は日本語。
- ・配信等に出演する始祖様は配信地域の言語や宇宙共用語をしゃべっている。
配信に出たり人間に好意的なのは、基本的に番が見つかるまでの暇つぶし。
アイドル扱いされることを面白がってる始祖様もいる。
- ・番は基本的に何百年何千年と見つからないのが通常。
番以外には興奮しないのに性欲はつよつよの始祖様が殆どなので、
性処理用アイテムは色々ある。故のシヴィイの「オナホ」発言。
- ・汗をかく器官があまり無い。熱の排出は大量の射精等によって行う。あつあつ精子。
地球で水浴びや風呂にハマる始祖様はわりといる。シヴィイも風呂好き。





画像の転載・複写・改変禁止

Reproducing all or any part of the contents is prohibited.



きみに執心

バーガーサント・黄身



ありがとうございます!!
ジョーイさん!!





宜しくお願い
いたします！

